

代田盛一郎（大阪健康短期大学 子ども福祉学科 教授）

社会福祉・児童福祉、保育・放課後児童クラブ（学童保育）を専門とし、保育士・幼稚園教諭の養成を行いつつ、特に子どもの遊びに関する研究を行っている。

主な講師活動として大阪府、和歌山県の「放課後児童支援員認定資格研修」や放課後児童支援員の現任研修等を多数担当。

執筆活動として『放課後支援員都道府県認定資格研修テキスト～子どもが輝く放課後を創る～』（フォーラム A、2015 年）、『子どもは遊べなくなったのかー「気になる子ども」とヴィゴツキー=スピノザ遊び理論』（三学出版、2011 年）がある（いずれも共著）。雑誌『日本の学童ほいく』2018 年 4 月号から 9 月号まで「【講座】子どもの遊び世界を豊かに」を連載（全 6 回）。

最近、人生 3 回目のベーゴマブーム中（十文字巻き外投げ、大相撲高王愛用）。